

大阪府情報活用能力ステップシートの関連項目

E-STEP3 M-STEP3

国語		学習計画		名前	
単元名		述語になる単語(用言)			
単元課題		動詞・形容詞・形容動詞のはたらきを理解する。 動詞・形容詞・形容動詞の学びをとおして、「活用」に対する理解を深める。			
単元目標		eライブラリを活用して活用について基礎的な所を をきちんと抑えて頑張る			
やること リスト 出来たものを チェックしよう！	☒ 活用形を理解する	☐ 補助動詞	教科書		ワーク
	☒ 動詞の活用形を見分けられる	☒ 形容詞について理解する	P246～P250		P34～P51
	☒ 動詞の活用形の種類を理解する	☒ 形容動詞について理解する	P247-248		P34-35
	☒ 動詞の活用形の種類を見分けられる	☐	P249-250		P36-39
	☒ 五段活用連用形の音便	☐			P40-41
	☒ 可能動詞・也動詞	☐			P42-45
	☒ 可能動詞	☐			P46-47
	☒	☐			P48-49
	☒	☐			P50-51

ブラックマゼミ

黒板が白くならないように、黒板の裏面に黒板消しを貼って、

ループリック評価

導入

導入で学習者は、単元の課題やループリック、前
時の自分の学習進度、残りの時数を確認。自分
の学習計画を立てる。



自分なりの頑張Ringによってやる気up！

展開

展開で学習者は、自分で立てた学習計画に従っ
て学習を進める。やることチェックリストで、自分
の学習段階を確認しながら進められる。



授業者の解説を録画。
学習中2画面で参照し
ながら課題に取り組む



授業者の板書を自分
なりに学習支援アプリで
まとめ、周囲に共有



生成AIを学習者が活用。
問題を作成させ、自分
の理解度を確認



グループで課題につい
て議論



学び合いがしやすいよ
う学習者の判断で座席
を移動



教科書・問題集・WEB
ドリルを活用し、個人
で学習をすすめる



「個別最適」で「協働的」な学びにアプローチ

振り返り

振り返りでは、学習内容だけでなく、自身の学習
についても振り返りをおこなう。振り返りチェッ
クリストによって、学習者の振り返りをサポート。



自分の学びを見つめ、良い学習サイクルへ

ループリック評価
シートのリンクURL
を追加。「指導と評
価の一体化」へ

授業者は学習内容
だけでなく、学習手
法についてのアドバ
イス・指導もおこな
う

各チェックリストに
よって、学習者が
「何をやればよいか
分からない」迷子を
防ぐ

よい振り返りは、授
業者がチャットで全
体へ共有し、価値づ
ける